

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	各種お問い合わせ ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 配当金計算書について
配当金お支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択頂いている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させて頂いております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

- 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式(1～99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式(1～99株)を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きください。また、お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人までお問い合わせください。

● 買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)



日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

NITTAN VALVE REPORT 第93期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

INDEX

株主の皆様へ 01

セグメントの概況 03

特集 05

連結財務情報 07

株式情報／会社情報 09

事業拠点 10

CHALLENGE, CREATION, SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、

時代のニーズを先取りした

高品質な製品をご提供します。



株主の皆様におかれましては、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました金原利道でございます。

当社第93期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)が終了いたしましたので、ここに決算と主要項目につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

金原 利道

決算ハイライト

売上高
43,105百万円
前年度比 4,132百万円(10.6%)増

営業利益
2,617百万円
前年度比 1,455百万円(125.3%)増

経常利益
3,201百万円
前年度比 1,563百万円(95.5%)増

当期純利益
658百万円
前年度比 466百万円(242.3%)増

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当期の市況について

当連結会計年度における国内経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど景気は緩やかに回復しました。先行きについても、海外景気の下振れリスクなどが懸念されるものの回復基調が続くことが期待されます。一方、世界経済は、欧州、中国やその他新興国の先行き、原油価格下落の影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかな回復が続いております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響等により低調となりました。海外市場は北米、中国における需要拡大や欧州の回復などを背景に概ね堅調な推移となりました。

当期の取り組みおよび業績について

当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とし、新たに「構造改革を成功させ、利益革新に挑む」という経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当連結会計年度の業績としましては、国内事業は、四輪車用エンジンバルブの受注減が影響し前年度に比べ減収となりました。海外事業は、中国における生産拡大やベトナム子会社の量産開始に伴う増収に為替換算の円安効果も加わり堅調な推移となりました。この結果、売上高は、431億5百万円(前年度比10.6%増)となりました。

損益面につきましては、国内、東南アジアにおける小型エンジンバルブ事業は減益となったものの、中国の好調、北米の回復による増益に海外事業における為替換算の円安効果も加わり、営業利益26億17百万円(前年度比125.3%増)、経常利益32億1百万

次期業績の見通し

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界につきましては、国内経済環境の改善が期待されるものの、依然として海外現地生産の流れに変化は生じず、国内市場は縮小方向にありますが、アジア地域および北米市場での持続的な成長を見込んでおります。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は427億円(前年度比0.9%減)、営業利益は31億円(前年度比18.4%増)、経常利益は

■ 第94期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	配当予測
第2四半期累計	21,000百万円	1,600百万円	1,700百万円	500百万円	5円00銭
通期	42,700百万円	3,100百万円	3,200百万円	1,000百万円	5円00銭

円(前年度比95.5%増)となりました。当期純利益は、投資有価証券の一部売却に伴う投資有価証券売却損および当社が納入した製品に関連した納入先の損失に対する損失補償金の特別損失計上はあったものの、前年度に比べ増加し、6億58百万円(前年度比242.3%増)となりました。

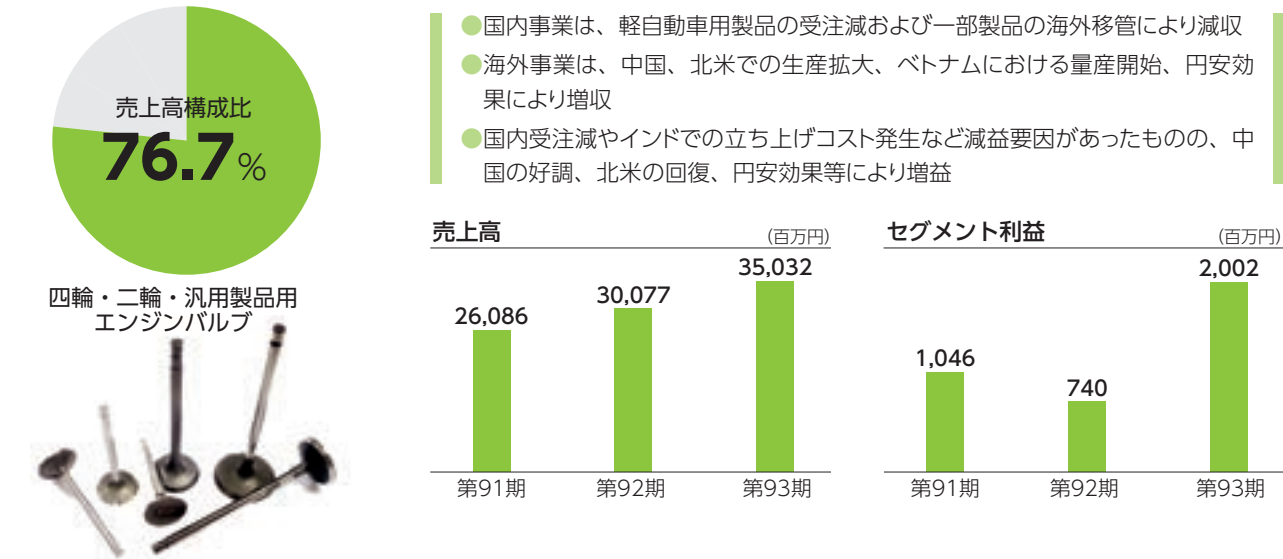
なお、第1四半期連結会計期間より、インドにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンインディアテック Pvt. Ltd.および当社のグローバル展開のマネジメントを担う子会社であるニッタン・グローバル・テック株式会社の2社を新たに連結しております。

32億円(前年度比0.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億円(前年度比51.8%増)を見込んでおります。

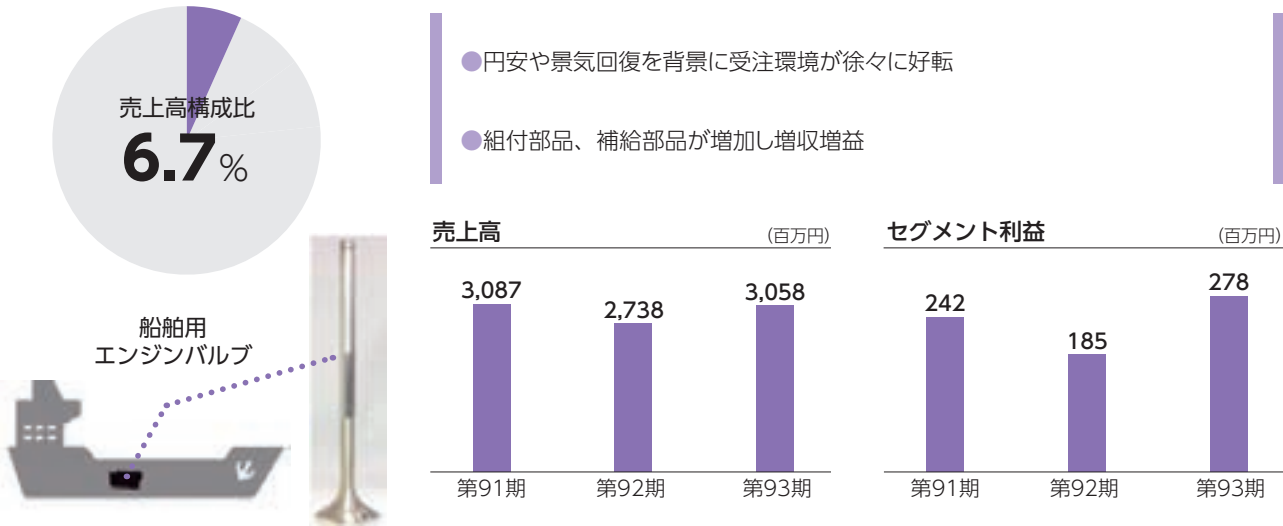
なお、上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の予測が含まれております。したがって、今後の事業運営、経済情勢など内外の状況の変化により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

■ 事業別 (連結) 売上高・セグメント利益

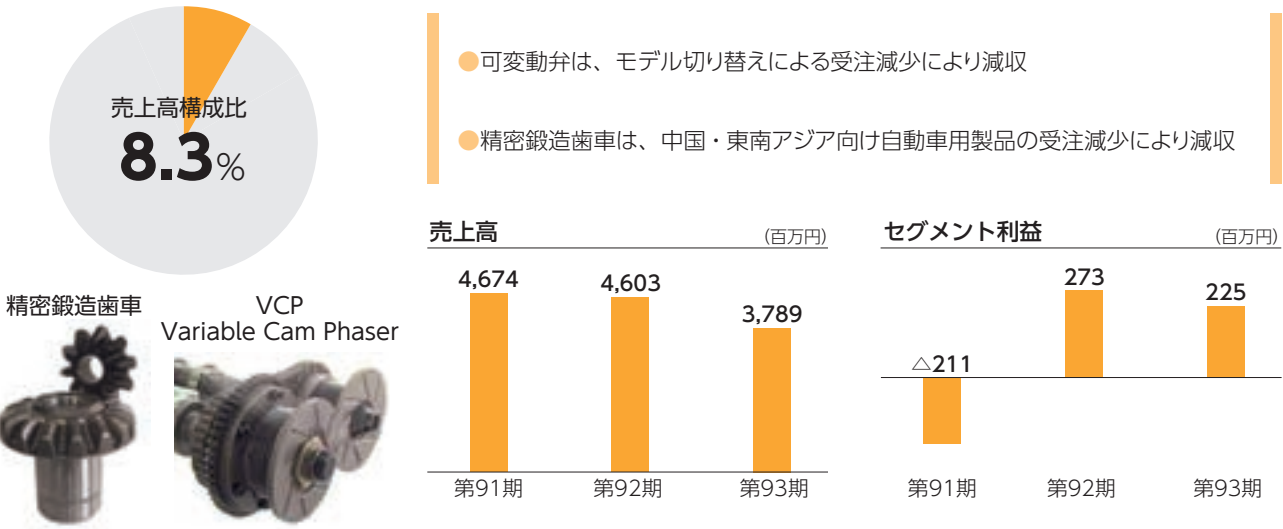
小型エンジンバルブ事業



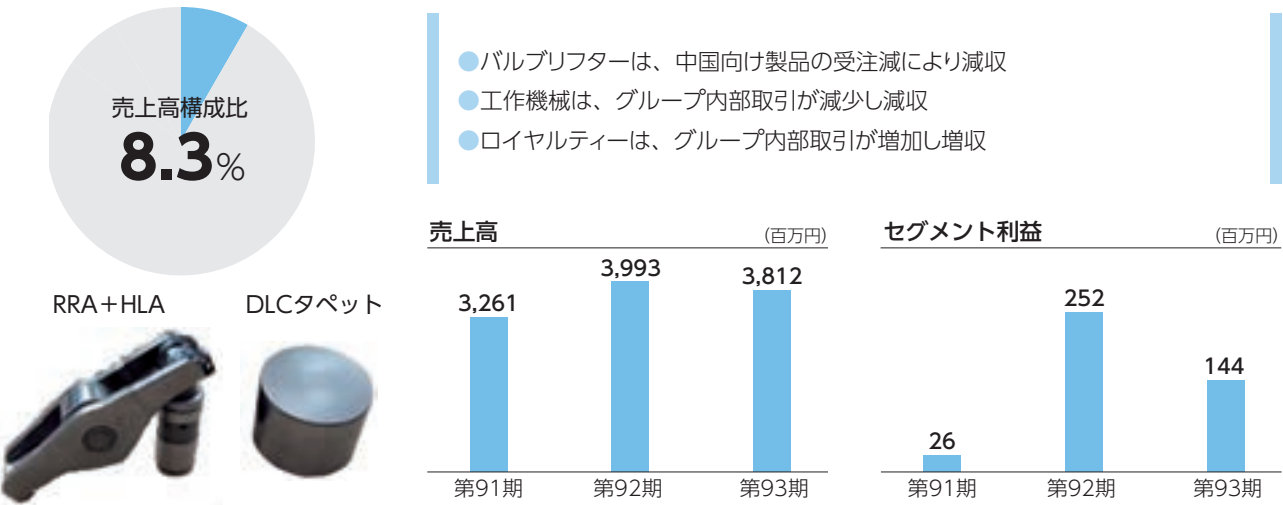
舶用部品事業



可変動弁・歯車事業



その他事業



(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社グループが最も影響を受ける自動車業界におきましては、依然として自動車メーカーは現地調達化を展開し、サプライヤーから世界規模で部品調達を行っております。当社は、いち早く顧客ニーズに対応し、積極的な海外展開を行ってまいりましたが、近年では日系部品メーカーの海外攻勢や現地部品メーカーの躍進により、グローバルでの価格競争力、供給力、開発体制が一層求められております。

このような状況の下、当社グループでは、2015年度から2019年度を期間とする新たなグローバル中期経営方針を策定いたしました（下図参照）。

中期経営方針

2015-2019年度 グローバル中期経営方針

I. 基盤強化・・・ものづくり、業務改善

- ①ものづくり力を強化し、顧客の信頼を高める
- ②改善力を強化し、環境変化に強い体質に変革する
- ③適正な投資と資産管理により、財務基盤を強化する

II. 永続的发展・・・拡販、開発、品質

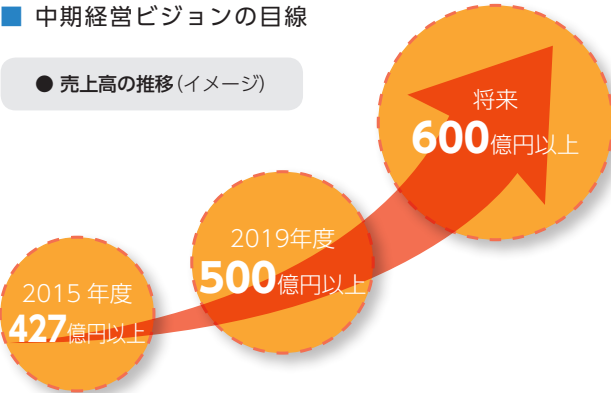
- ①徹底的な原価改善により、コスト競争力をつける
- ②開発力を強化し、新たな受注を獲得する
- ③品質力の向上により、ブランド力を高める

III. 企業風土改革・・・安全、環境、人材育成、コンプライアンス

- ①人材育成の仕組みを充実させ、グローバル人財を育成する
- ②コンプライアンス体制を整備し、リスクを未然に排除する
- ③安全意識を高め、快適な職場をつくる
- ④環境負荷を低減し、地域に貢献する

中期経営ビジョンの目線

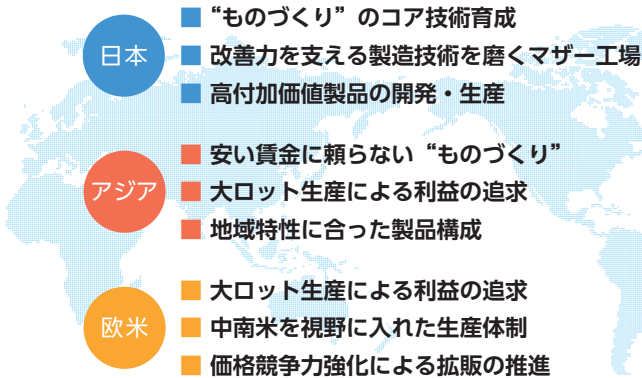
● 売上高の推移（イメージ）



🔑 キーワード

「グループ力最大化」・「グローバル最適生産」

地域別戦略



当社は、グローバル中期経営方針に基づく諸施策を着実に進めていき、“グループ力最大化”・“グローバル最適生産”を目指してまいります。そして、そのプロセスの一つとして、各地域にある生産拠点を最大限に活かし、大ロット生産はもとより顧客の細かなニーズにも対応したグローバル最適生産を成し遂げるため、独自の地域別戦略を加速させてまいります。特に日本においては高付加価値製品や新商品の開発・生産、技術競争力の強化に注力してまいります。

次世代戦略商品の展開

当社は、小型エンジンバルブ事業を柱としておりますが、創業当時より培われている“鍛造技術”・“機械加工技術”を活かし、将来の基幹事業を狙った次世代戦略商品の開発を行っております。傘中空バルブにつきましては量産が開始され、さらなる搭載機種拡大が見込まれております。新盛金バルブにつきましては、今後の燃料多様化で増加が見込まれる、エタノールやガス燃料等を利用したエンジンに対応しております。

なお、新VCPおよびAT用新機構部品につきましては、現在、開発・試作段階であることから、全貌を明らかにすることはできませんが、小型エンジンバルブ事業以外の戦略商品となり、当社の事業規模がさらに拡大することになります。

傘中空バルブ

更なる耐熱性向上・軽量化を実現！
4輪向け日鍛傘中空バルブ

燃費向上 最大↑1%

※従来中美バルブとの比較



新盛金バルブ

高耐摩耗・高耐腐食！
2輪/4輪/船用/汎用エンジン向け新盛金バルブ

耐摩耗性 同等以上

割れ・腐食発生なし

※従来盛金バルブとの比較



新VCP

市場実績を積んでVCPが進化！
コンパクト化で市場ニーズに応える

軽量化 最大△37%



AT用新機構部品

従来機構（電動式）を油圧化！
車両レイアウトの自由度を上げる新機構部品

軽量化 最大△30%

※従来電動式との比較



リフター・ローラーロッカーアーム海外戦略（連結対象外）

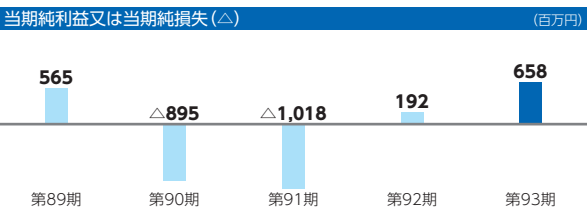
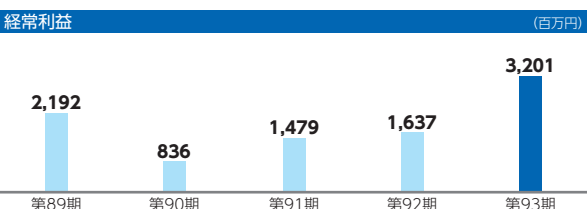
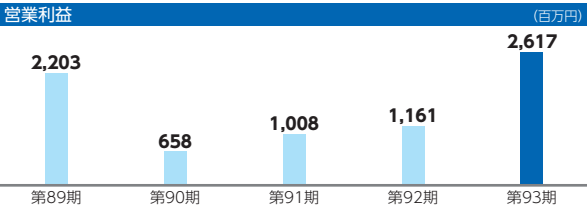
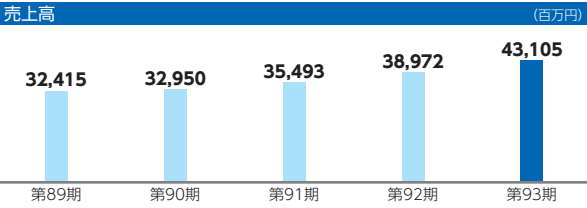
当社のリフター・ローラーロッカーアーム事業の海外戦略は、現在、当社が35%出資する新和精密株式会社が韓国において、また同社の100%出資子会社である北京柳成新和汽車部件有限公司が中国において、それぞれ生産・販売を行っております。

両社の売上高は約100億円程度となりますが、近年の当社営業戦略によるシェア拡大や今後の市場の需要増加も見込まれることから、さらなる事業強化を目指すこととし、昨年12月に中国山東省に新たな生産拠点を設立いたしました（右図参照）。



会社名	日照柳成新和汽車部件有限公司
所在地	中国 山東省
資本金	24,833 千RMB
出資割合	新和精密株式会社 100%
事業内容	バルブリフター製造販売
生産開始	2015年 8月（予定）

連結業績の推移



POINT

- 売上高・営業利益については、3期連続の増収増益を達成
- 経常利益については、為替変動による差益、配当金収入の増加等もあり大幅増

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (平成27年3月31日)	前連結会計年度 (平成26年3月31日)
流動資産	20,194	18,458
固定資産	37,162	32,790
流動負債	12,387	12,500
固定負債	12,101	9,551
純資産	32,867	29,196
総資産	57,356	51,248

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	43,105	38,972
営業利益	2,617	1,161
経常利益	3,201	1,637
当期純利益	658	192

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
現金及び現金同等物期首残高	4,951	3,213
営業活動	3,568	2,715
投資活動	△ 5,568	△ 6,259
財務活動	1,126	4,456
為替変動の影響	576	334
新規連結の影響	595	490
現金及び現金同等物期末残高	5,250	4,951

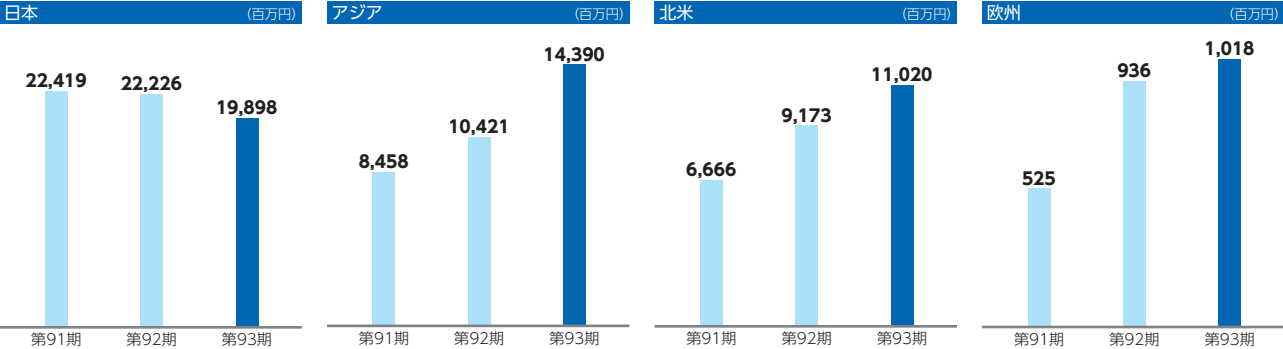
※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

POINT

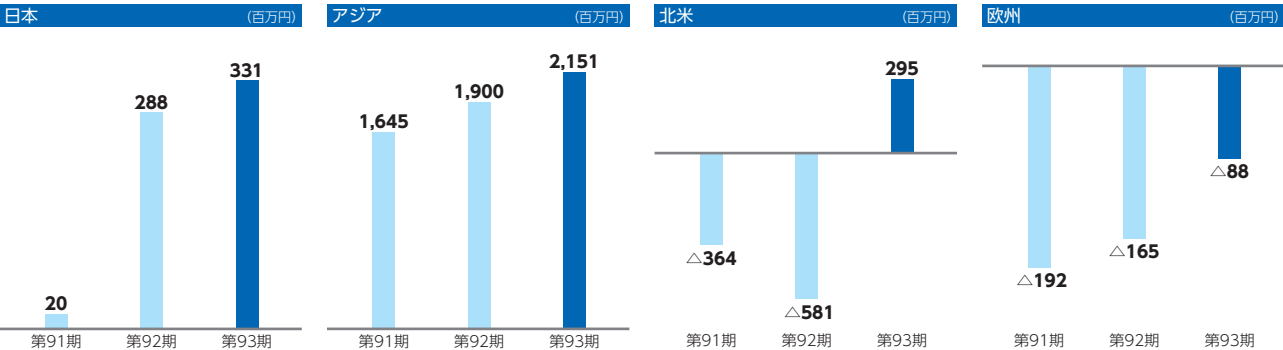
- 投資活動によるキャッシュ・フローについては、主に日本、インド、中国、タイ等のアジアにおける製造設備の増設等による

所在地別セグメント

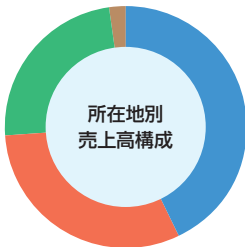
売上高



営業利益又は営業損失 (△)



所在地別売上高構成比



- 日本 42.9%
- アジア 31.1%
- 北米 23.8%
- 欧州 2.2%

POINT

- 中国での小型エンジンバルブ生産拡大、ベトナム子会社の量産開始等によりアジアでの売上高が増加
- 北米では受注増加に加え、過年度からの課題であった生産性回復が軌道に乗る
- 海外が日本の売上高を上回る

株式の状況

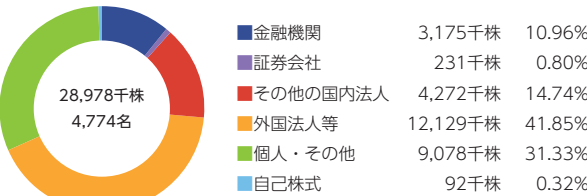
発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式の総数	28,978,860株
株主数	4,774名

大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イートンコーポレーション	8,693	30.00
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー (ケイマン) リミテツド	1,446	4.99
株式会社横浜銀行	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	1,233	4.26
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.65
株式会社シンニッタン	517	1.78
株式会社みずほ銀行	472	1.63
ノーザン トラストカンパニー（エイブイエフシー） サブアカウントノントリーティー	464	1.60
明治安田生命保険相互会社	448	1.55
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	435	1.50

(注) イートンコーポレーションは所有する当社株式8,693,660株のうち799,800株をメロンバンクトリートリークライアントオムニパス(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)に信託しており、同社名義で株主名簿に記載されています。

株式分布状況



会社概要

会社名	日鍛バルブ株式会社
英文会社名	NITTAN VALVE CO., LTD.
本社所在地	神奈川県秦野市曽屋518番地
設立年月日	昭和23年11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	681名

主要な事業内容 下記製品の製造及び販売
・小型エンジンバルブ(乗用車・二輪車・トラック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ)
・船用部品(船舶用エンジンバルブ、汎用製品のエンジンバルブ)
・可変動弁・歯車(自動車用電磁式連続カム位相可変機構、自動車・トラック・農業機械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車)
・その他(バルブリフター、ローラーロッカーアーム、工作機械製造販売ほか)

役員一覧（平成27年6月24日現在）

代表取締役会長	高橋久雄
代表取締役社長	金原利道
常務取締役	李太煥
取締役	愛野浩史
取締役	中元一雄
取締役	目黒淳一
取締役	井上文雄
取締役	小関誠也
取締役	六浦満夫
取締役	ナンド・クマール
取締役	木全紀之
監査役（常勤）	鈴木文孝
監査役	渡辺博昭
監査役	村田浩
監査役	下山秀弥

国内の主要な事業拠点

本社工場	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-82-1311 FAX.0463-82-7413
山陽工場	〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井字国木1173番20号 TEL.0836-73-1611 FAX.0836-73-1616
東京事務所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3211 FAX.03-5337-3210
中部営業所	〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2丁目34番20号 CK23名駅前ビル5階 TEL.052-485-6121 FAX.052-562-0500
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町12番1号 アクティブインターシティ広島11階 TEL.082-258-3125 FAX.082-258-3144

グローバル生産拠点

